

【がん化学療法レジメン】

宮崎県済生会日向病院 2024 年 12 月 1 日改訂 《無断転載禁止》

対象疾患	適応	レジメン名	コース期間	総コース数	催吐リスク
大腸癌	■進行・再発 ☐術前補充療法 ☐術後補助療法	Bev+FTD/TPI療法 2週毎	14日間	規定無し	中

	薬品名	投与量	投与経路	投与時間	day													
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
①	ペバシズマブ 生理食塩液	5mg/kg 100mL	点滴静注	90分（初回） 60分（2回目） 30分（3回目以降）	↓													
②	生理食塩液	50mL	点滴静注	10分	↓													
※	TAS-102	下記参照	内服	1日2回朝夕食後	↓	↓↓	↓↓	↓↓	↓↓	↓								

《注意事項・備考》

- ・ Bev：初回90分で投与し2回目以降60分→30分と投与時間短縮可能

・ FTD/TPI用量：1.07>BSA：70mg/day、1.07≦BSA<1.23：80mg/day、1.23≦BSA<1.38：90mg/day、1.38≦BSA<1.53：100mg/day、1.53≦BSA<1.69：110mg/day、1.69≦BSA<1.84：120mg/day、1.84≦BSA<1.99：130mg/day、1.99≦BSA<2.15：140mg/day、2.15≦BSA：150mg/day

・ FTD/TPI服用期間：day1 夕食後～day6 朝食後まで（4週毎レジメンと内服期間異なるため注意）